

川西市参画と協働のまちづくりに関する 市民アンケート調査 報告書（概要）

令和4年12月
川西市



I 調査の概要

1. 調査目的

この調査は、市民の地域活動など市民活動への参加状況、参画と協働に関する意識、市政・地域への関心などを把握し、今後の参画と協働のまちづくり推進施策に反映するための基礎資料を得ることを目的として実施しました。

2. 実施概要

調査期間 令和4年6月8日(水)～6月20日(月)
調査対象 川西市に住む16歳以上の市民2,000人を無作為抽出しました。
調査方法 配布郵送・回答(郵送・オンライン)

3. 回収状況

配布数 2,000
不着・無効数 5
有効配布数 1,995
有効回収数 825 (郵送 553 窓口 3 オンライン 269)
回収率 41.4%

4. 調査内容

1 地域及び コミュニティ組織 について	問1	地域のことに関心があるか
	問2	コミュニティ組織の活動を知っているか
	問3	自治会やコミュニティ組織の情報をどのように入手しているか
	問4	自治会やコミュニティ組織のどのような活動に参加しているか
	問5	参加したきっかけ(地域)
	問6	参加して良かった点(地域)
	問7	参加して負担に感じた点や難しかったこと(地域)
	問8	活動に参加しにくい理由(地域)
2 NPOについて ボランティア	問9	ボランティアやNPOなどの活動に参加しているか
	問10	参加したきっかけ(NPOなど)
	問11	参加して良かった点(NPOなど)
	問12	活動に参加しにくい理由(NPOなど)

3 市 の 取 り 組 み に 関 心 を も つ て い る	問 13	市政に参画するための取り組みに参加したことがあるか
	問 14	「地域づくり一括交付金」を交付していることを知っているか
	問 15	市民活動センターを知っているか
	問 16	市民活動センターで利用したことがある（利用してみたい）もの
4 新 た な 協 働 の 芽 に 関 心 を も つ て い る	問 17	過去 1 年間に「新たな協働の芽」をおこなったことがあるか
	問 18	「新たな協働の芽」を立ち上げたり参加したいと思うか
	問 19	「新たな協働の芽」を立ち上げたり参加するのに必要なもの
5 回 答 者 の 属 性	問 20	性別
	問 21	年齢
	問 22	同居している方
	問 23	子どもについて
	問 24	職業
	問 25	居住地域

5. 報告書の見かた

調査結果について

- (1) グラフ内の数字は特記のない限り、百分比(%)です。
- (2) 集計の百分比(%)は、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しています。このため、択一設問の場合は百分比の合計値が 100.0 にならないことがあります。
- (3) 複数回答の場合は、百分比の合計が 100 を超えることがあります。
- (4) 「n=○」は、100%に対応する回答数(基数)です。
- (5) 選択肢の文言は、図表中では簡略化している場合があります。
- (6) 「前回調査」とあるのは、平成 29 年 2 月に実施した「川西市参画と協働のまちづくりに関する市民アンケート」の結果です。

Ⅱ 調査結果概要

【調査結果1】 前回調査と同様に多くの市民は地域に関心を持っている

- 76.7%（「非常に関心がある」「ある程度関心がある」）が関心があると回答。これは前回調査時(平成 28 年度) から比較しても、ほぼ同様。(図 1)
- 70 歳代が最も地域に関心が高く、次に 80 歳代、30 歳代となっている。(図 2)
- 未就学児をもつ親世代は、「非常に関心がある」が 18.2%と多く、「ある程度関心がある」を合わせると 86.4%になる。(図 3)

【分析1】 子育て世代に参画しやすい環境をつくられば、地域活動につながる可能性があると考えられる。

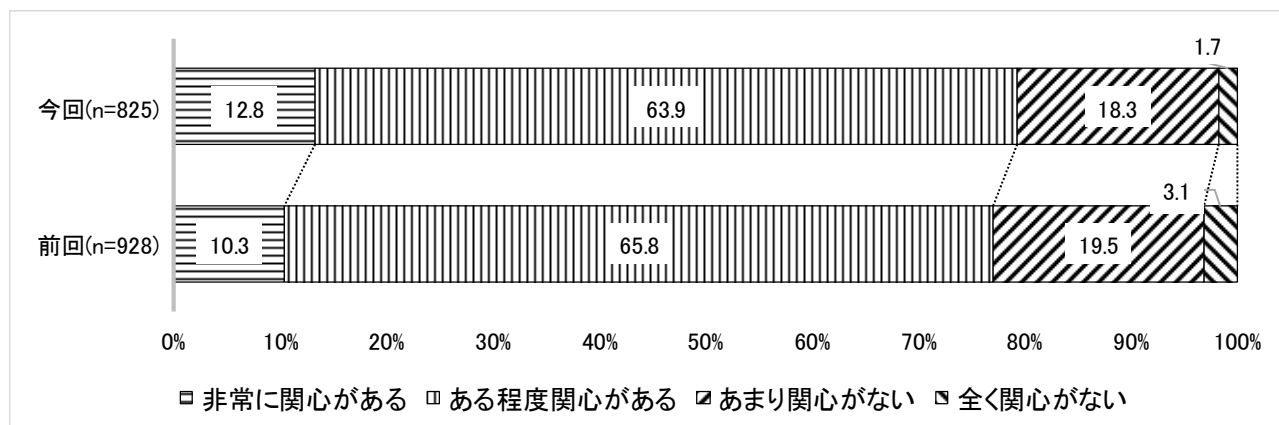


図 1. 地域のことに関心があるかの前回比較（全体）

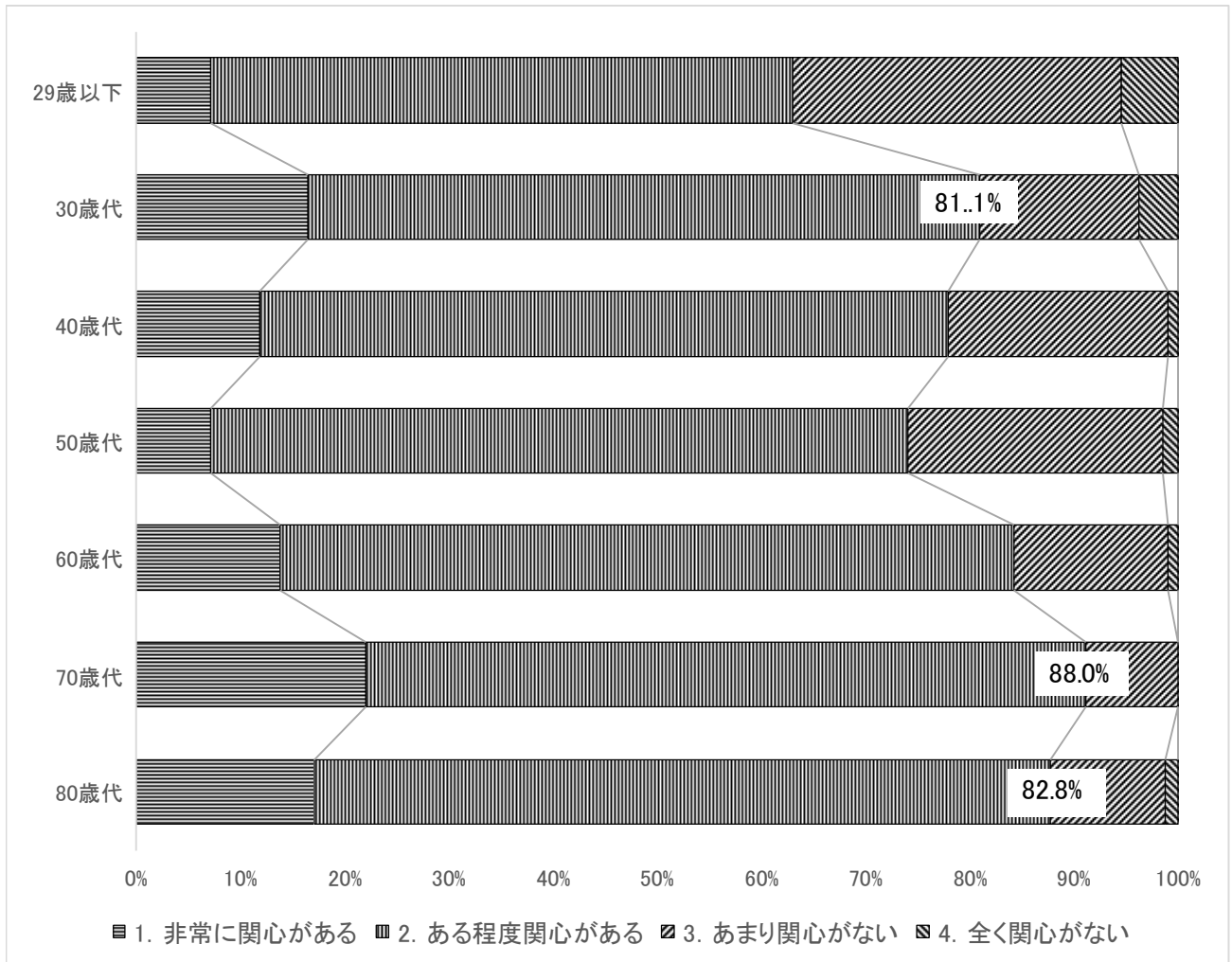


図2. 地域のことに興味があるかの比較（世代別）

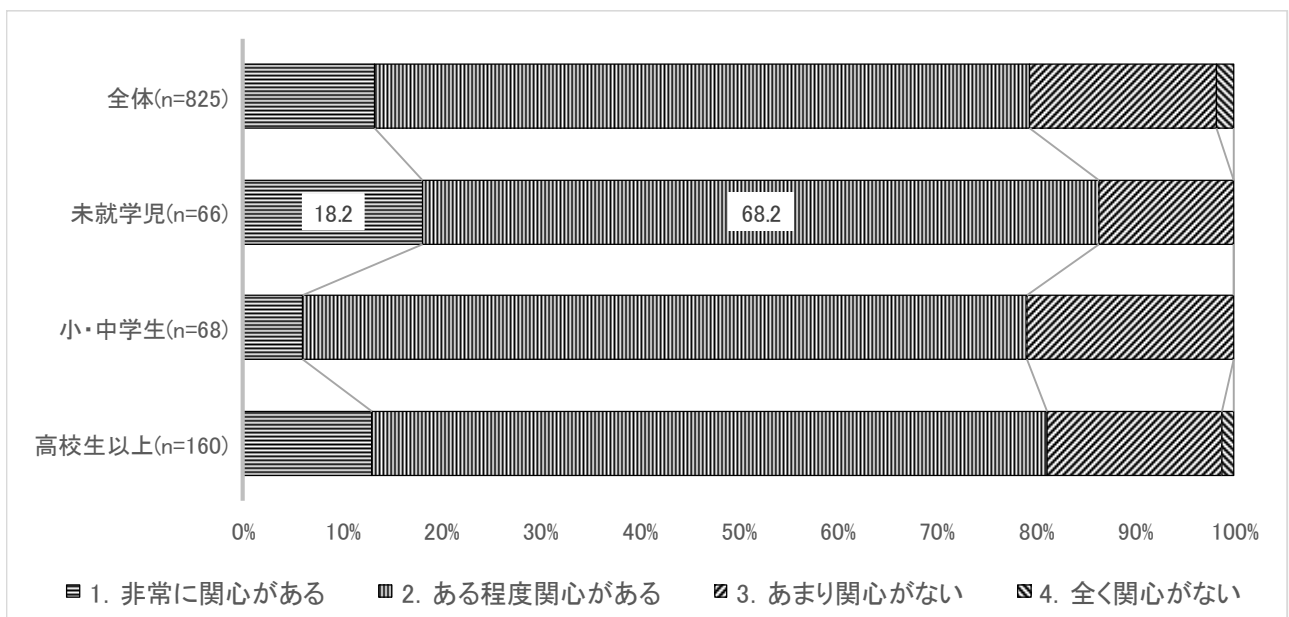


図3. 地域のことに興味があるか（子ども同居）

【調査結果2】 地域活動や市民活動の内容や参加の仕方が分からない人も多い

- 地域活動ならびにボランティア・NPOなどの活動に参加しにくい理由の1位は「時間がないである」が「どのような活動内容があるのか分からない」や「参加の仕方が分からない」といった意見も多い。(図4)
- 未就学児をもつ親世代の参加しにくい理由の1位は全体と同じく「時間がない」、であるが、2位は「どのような活動内容があるのか分からない」と回答。(表1)
- 参加して、「近所付き合いが広がった」「地域の情報を得ることができた」「地域を住みよくすることに役に立った」という意見は、前回調査と同様に多い。
- 地域の情報は、56.6%の人が「自治会だよりやコミュニティだより」や「回覧板」から入手している。次に多かったのが「どこからも得ていない」で「ホームページやSNS」からの入手は2.4%である。(図5)

【分析2】 活動内容や参加の仕方が分からないため、活動に参加しない人も多 いと考えられる。

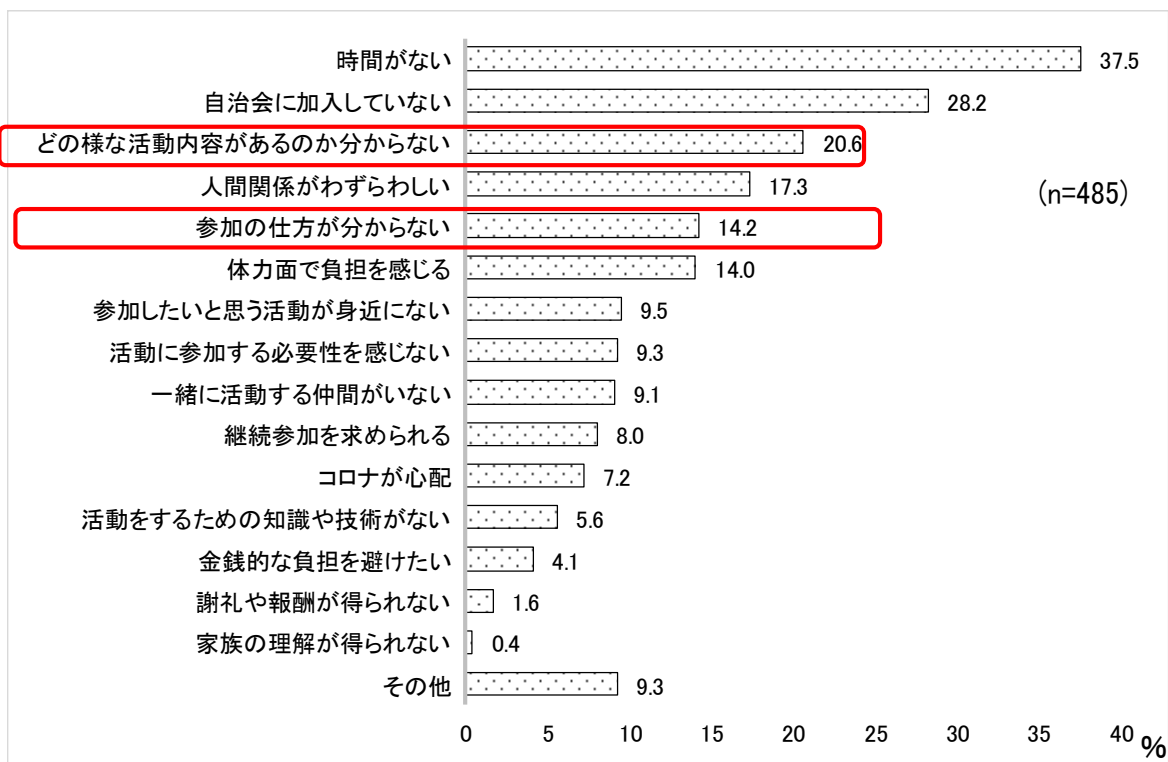


図4.地域活動に参加しにくい理由はどのようなものですか

表1.参加しにくい理由(子と同居の親世代)

	1位	2位	3位
未就学児	時間がない	どのような活動内容があるのか分からない	自治会に加入していない
小学生・中学生	自治会に加入していない	時間がない	人間関係がわずらわしい
高校生以上	自治会に加入していない	時間がない	どのような活動内容があるのか分からない

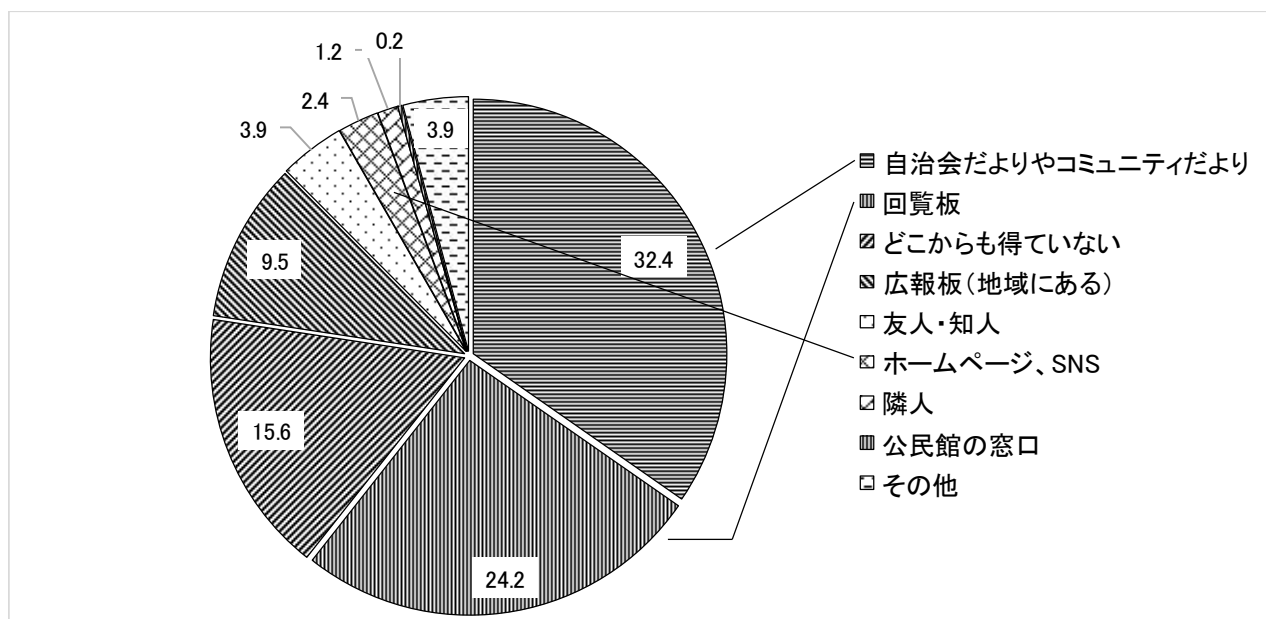


図5.地域情報の入手方法

【調査結果3】 活動への参加のきっかけは、「順番がまわってきた」「誘われた」が多い。

- 地域活動への参加のきっかけは、「班長などの当番の順番がまわってきた」「近所の人や友人知人に誘われた」と回答。(図6)
- ボランティアやNPOなどの活動に参加しているのは、約1割で前回同様である。きっかけは、「近所の人や友人知人に誘われた」「興味ある活動がおこなわれていた」が多い。
- 参加して負担になるのは、前回調査と同じく「時間をとられる」が1位で、これは地域やボランティアなどでも参加しにくい理由の1位である。(図4) 70歳代以上になると1位が「体力面で負担を感じる」と回答(図7)
- 参加している地域活動で一番多かったのは、前回調査同様、クリーンアップなどの清掃活動である。どの世代も「特に参加していない」が最も多かったが、男女70歳代は1位が清掃活動と回答。(図8)

【分析3】 **まずは参加してみることが、活動への参加のきっかけになると考えられる。**

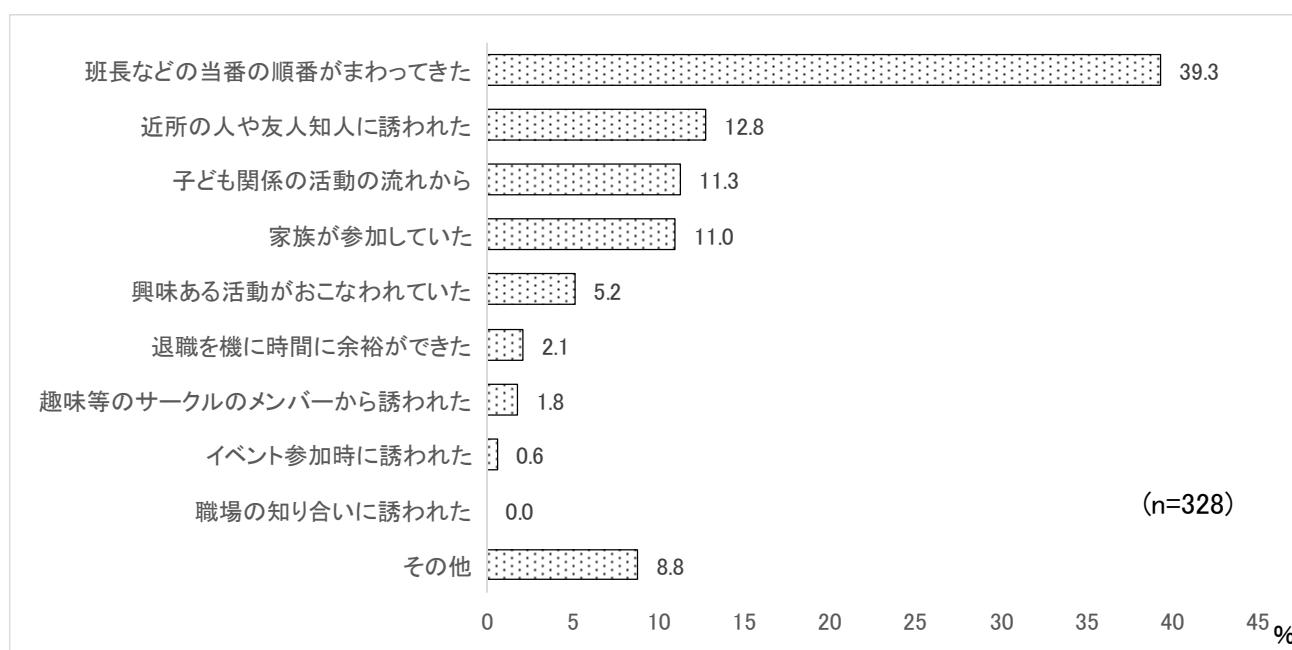


図6.地域活動へ参加のきっかけ

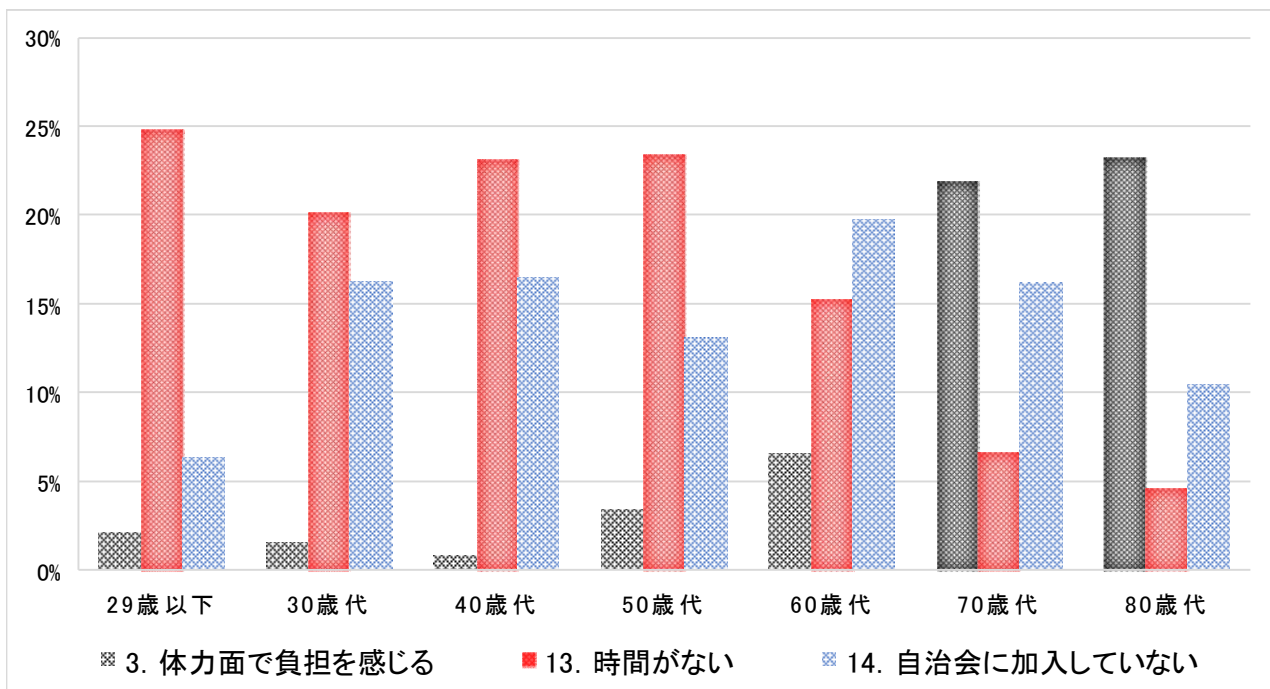


図7.参加しにくい理由(年齢別)

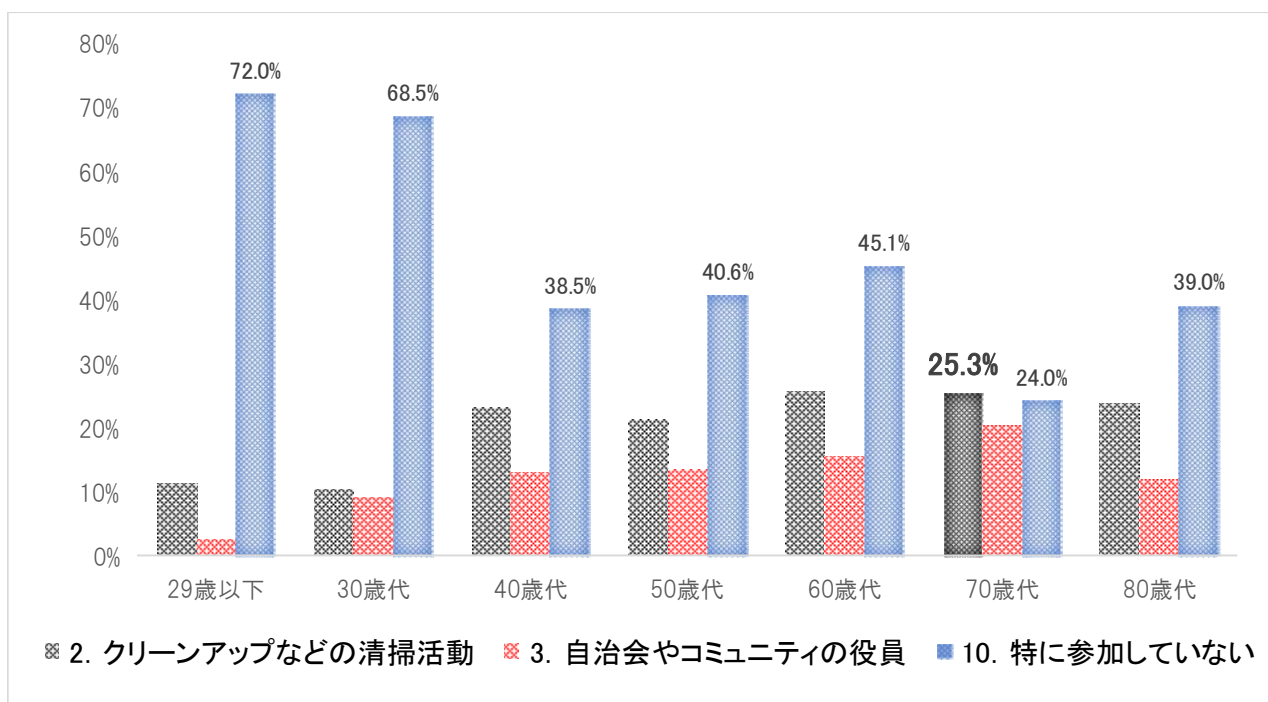


図8.参加している地域活動(年齢別)

【調査結果4】 半数以上の市民が市の参画と協働の取組みを知らない

- 55.5%の人が、市の取り組み（パブリックコメントの実施、住民説明会の開催、アンケートなど）を知らない。（図9）
- 地域づくり一括交付金については、知らないが70.7%。（図10）
- 市民活動センターは、77.5%の人が知らない。（図11）市民活動センターは市の南部に位置しているが地域別でも、大きな特徴はみられなかった。

【分析4】 市の取り組みについては、従来のアプローチでは十分ではないと考えられる。

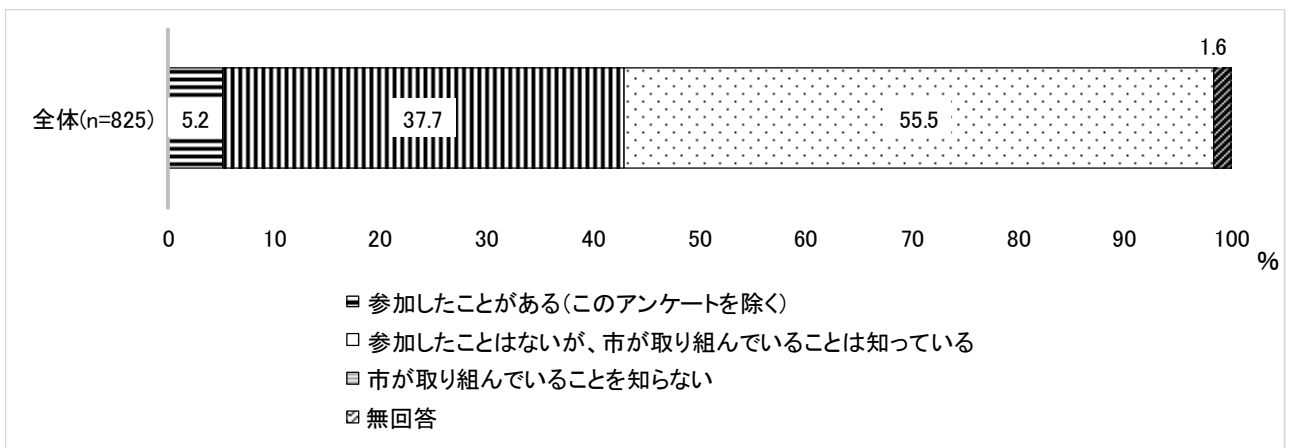


図9. 市の取り組みについて知っていますか

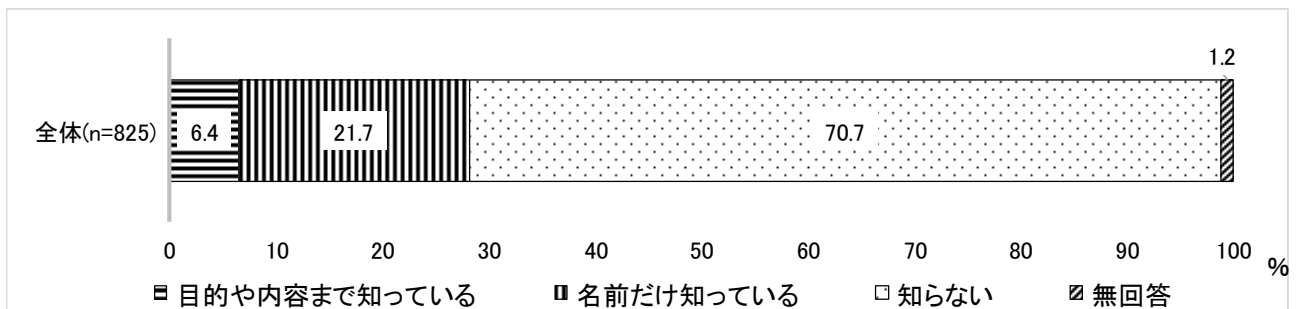


図10. 「地域づくり一括交付金」を交付していることを知っていますか

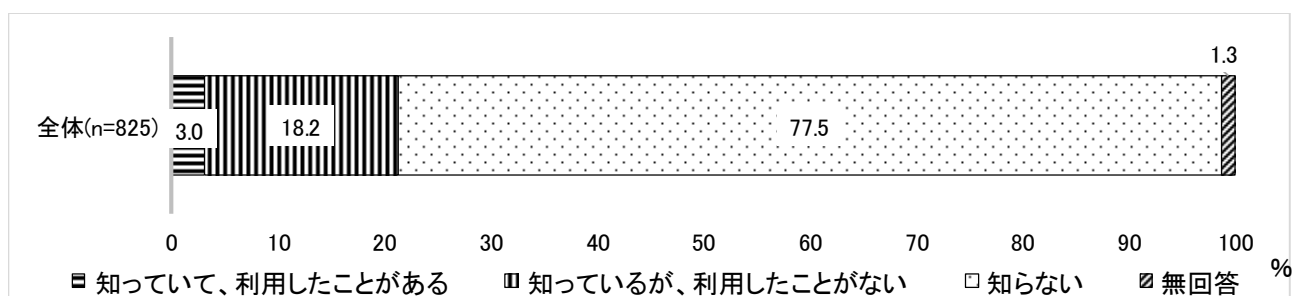


図11. 「市民活動センター」を知っていますか

【調査結果5】 新たな活動に参加したい人は、一定数存在している

- 今後、新たな活動を立ち上げたり、参加したい人は22.4%。(図12)
- 活動に参加するのに必要なものとして、最も多かったのは「活動内容の情報」である。(図13)
- 自由記述の中で、「参画と協働について」これから参加したいといった意見が前回調査時より多く寄せられている。

【分析5】 既存の活動とは違った活動への関心があると考えられる。

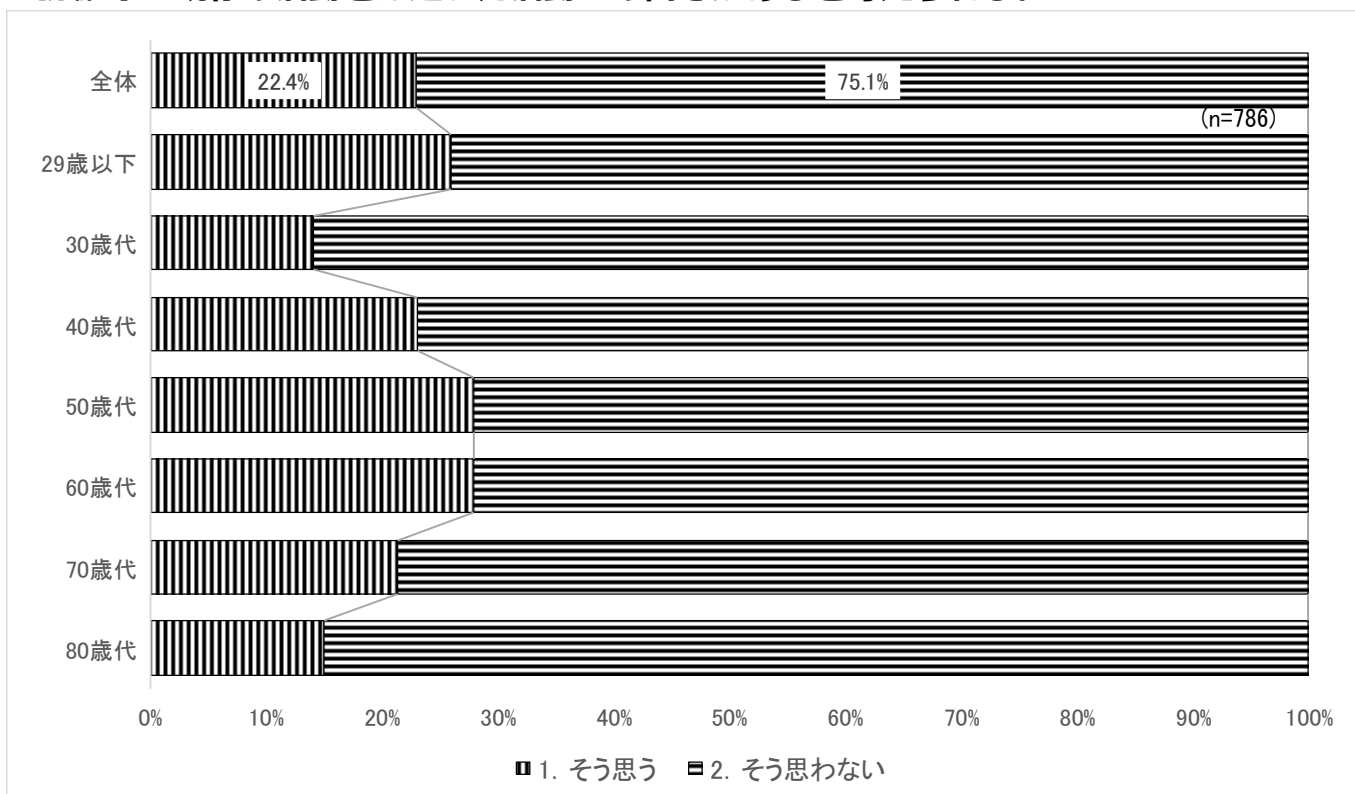


図12.新たな活動を立ち上げたり、参加したいと思いますか

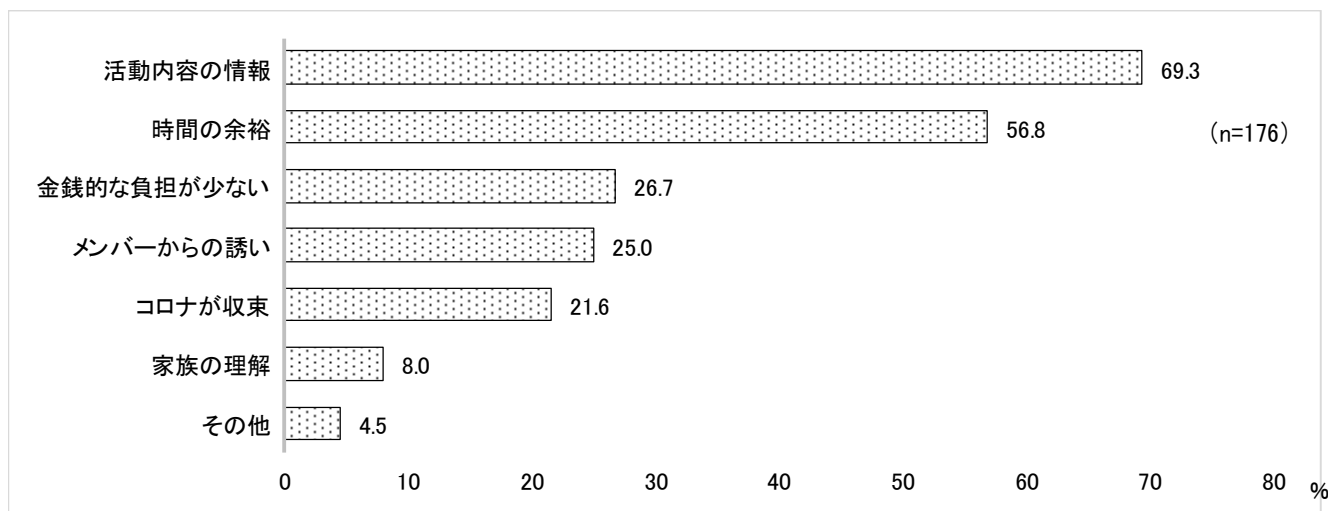


図13.新たな活動を立ち上げたり、参加するのに必要なものは何ですか。